



SAFを利用した脱炭素サービス DHL GoGreen Plusと 荷主様の声



**GoGreen
PLUS**

DHL Express. Excellence. Simply Delivered.



DHLジャパン株式会社
営業企画部長 小島浩嗣



DHL グループの新たな中期戦略 Strategy2030



Strategy 2025



Strategy 2030

DHL Group Strategy 2030

Accelerate Sustainable Growth



Frontrunner in **low carbon logistics**

Best **green commercial** offering in the industry

Trusted and effective **green solutions**



DHL Express | GoGreen Plus Webinar | April 2025



DHL Expressの サステナビリティ中間目標

2030年までに
温室効果ガス排出量を
2900万トンへ削減

2050年までに
温室効果ガス排出量を
ネットゼロへ

フォーカスエリア



2030年までに、
ラストマイル集配車両の
60%を電動化



2021年以降の
すべての施設を
カーボンニュートラル
対応に



2030年までに、
持続可能な航空燃料
(SAF)の混合率
を30%以上に

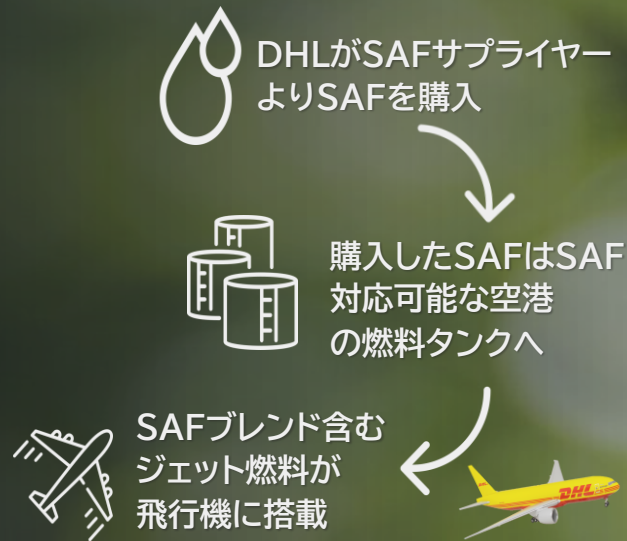


お客様へグリーンな
サービスの選択肢を
ご提供

SAFの活用によるCO₂の直接削減

SAFの物理的な流通

一般的な航空燃料からのCO₂排出量を
最大80%まで削減が可能



SAFの運用実績(2024)

- SAFの混合率は3.5%(2024)
(市場全体では0.3%)
- グローバルSAF市場におけるDHLのシェアは9.8%*(2024)
- 欧州、北米、アジア地区において13カ所のSAFの供給体制(含む日本)

* パートナーエアラインとの共同投資分を含む

DHL GoGreen Plusとは

荷主様のスコープ3のCO₂排出量削減をサポートする
SAFを活用したDHLのソリューション・サービス

サービスの流れ

- 荷主様はDHLのSAF購入への投資という形で参加(KG単価課金)
↓
- 投資金額に応じたCO₂排出量削減効果を得ることができる
↓
- DHLが提供する排出量レポートで貨物当たりの排出量を把握できる
↓
- 年間のCO₂削減量がDHLの発行する証明書で認証される

荷主様にとってのメリット

- ◎ Book & Claim方式によりDHLネットワーク内のどの荷主様も利用可能
- ◎ 通常のサービス料金に対するKG単価加算方式で手軽に参加可能
- ◎ SAFによる確実な削減、直ぐに得られる削減効果
- ◎ 結果の数値化、証明書の提供

GoGreen Plus の日本での実績

導入開始から約 **6,900** 社がご利用

- ・ アパレル : 16%
 - ・ 消費財 : 15%
 - ・ 製造業 : 15%
 - ・ 小売り : 13%
- 60%





ご清聴ありがとうございました。



GGPを導入されたお客様の声 導入背景・よかったこと

導入に踏み切った背景

対応の必要性

- ◆ 企業方針
- ◆ ビジネス上のニーズ
 - ・ 消費者
 - ・ 取引先
- ◆ 内部プレッシャー
 - ・ 社内・グループ内

直面する課題

- ◆ 何から手を付けてよいのかわからない
- ◆ Scope3がネックとなって先に進まない
- ◆ コスト/リソースの制約がある。



実際に導入して良かったこと

良さを実感した機能/ビジネスへの影響

- ◆ 手軽に開始することができた
- ◆ 即削減効果が出た/低コスト
- ◆ 成果が数値化され分かり易い
- ◆ 証明書やレポートにより成果が可視化できている
- ◆ 送状ロゴで消費者にアピールできている
- ◆ ブランド価値、企業価値の向上につながっている

社員の意識
モチベーション
ステークホルダー
からの信頼

お客様の声：導入のきっかけ



環境問題に関して常に意識していたが、**何から手を付けたいのか手詰まりの状況だった。**（自動車関連・販売部）



経営層からの指示で各部署にて毎月CO2削減の進捗説明が必要となっており、**削減ネタがなく困っていた。**（製造業・海外営業部）



メイン取引先からSDGsについてのアクションを求められておりましたが、**エビデンスが提出できるような対策は出来ておりませんでした。**（テクノロジー・製造部）



グローバルに向けた取り組みを検討している中、**直接的な削減活動を行うことは難しいが、投資という形で参加できる点**を評価。（製造業・役員）



GGPは**簡単に導入することができ、且つ成果も明確**な為、自社の戦略にマッチしており導入いたしました。（消費財・営業）

取引先にヨーロッパが多く、**二酸化炭素排出量削減に取り組んでることをアピール**ができる。今後のビジネス拡大のためのツールとして利用したい。（自動車・ロジスティクスチーム）



SCOPE3についての取り組みにおいて、**自社のみでは取り組みが難し**ため、DHLのサービスで取り組めることがわかり非常に有難かった。（小売り・Tradeセクション）



会社としてサステナビリティを強化しており、**プライベートブランドを扱っている上で欠かせないポイント**だと思い決断（小売り・開発部）



社内の環境問題意識が高いにも関わらず、**会社としてわかりやすい取り組みが出来ていない**と思っていた（中古車販売・海外事業部）



SDG'sに関心はあるものの**何から始めたらいいのかわからない。活動にける人員、時間も取れない。**（自動車関連・社長）

お客様の声：導入してよかった点



GGPの導入で数値化・証明書の発行により**成果が目に見えて分かり、環境保護活動を行っていることを実感できる。**（テクノロジー・本社）



GoGreenPlusのロゴが入る為、お客様にも弊社の取り組みが認識頂ける。（小売り・役員）



シンプルかつ取り組みやすいと感じており、**削減に対する知識や時間がなくても意識があるだけで取り組める。**（自動車関連・管理部）



HPへの掲載により、社会に対して環境負荷削減への**弊社の取り組みを広く知らせることができた。**弊社社員の環境負荷への取組みの認識向上につながった。
（小売り・社長）



グループ内でのスコープ3の取り組みは今年からだが、**弊社が先行して導入したため、一足先に実績が出ており、グループ内でも注目されている。**（製造業・調達）



EU圏の取引先ではサステナブルな取り組みをしている事を前提とした取引が主流で、**取引継続及び新規開拓にあたり、大きな役割を果たしている。**
（アパレル・経営戦略室）



私たちは小さい会社ですが、サステナビリティに取り組まなければならない考えをもっているても何をしたらよいのか具体的なアクションが見つけれませんでした。が、**Go Green Plusは少ない投資で確実なアクションが取れる為、有効なアクションであると認識しております。**
（製造業・海外事業部）



海外から顧客を日本に呼び、製品プレゼンテーションを行う場でGGPを紹介したところ、拍手が起きた。**この取り組みをしたことで企業価値も上がったと感じた。**（ライフサイエンス・社長）

お客様の声：期待と課題



証明書は年1回ですが、**今後削減量を随時確認できるシステムがあればありがたいです。**
(自動車・海外営業部)



当サービスのテーマそのものに加え**活動状況が社会に告知されること、より認知されることを期待**
(アパレル・代表取締役)



コスト上昇の心配がなく**継続的にGo Green Plusを導入し続けられること。導入企業の情報発信やアピールの面でのDHLの支援。**
(小売り・製品部)



排出量全体に占める削減量が限定的なため、**GGP+導入を機にさらなるSDG'S活動を推進したい**と思います。(アパレル・経営企画)



SDGsという観点で**人材雇用の際にもアピールできる**のではないかと(自動車・輸送管理部)

本国への報告にあたりレポートされた実績値が必要となるため、**もっと短サイクルで証明書が出力されると嬉しい。**
(テクノロジー・ロジスティクス責任者)



1年分のレポートが2月下旬から3月上旬にならないと確認できないのは残念。**Webなどで随時削減状況を確認出来る**と非常に助かる。(製造業・購買部)



月次レベルでの削減効果数値情報を把握したいのと、**将来的な顧客でのログインによるレポート閲覧等を期待**したい(自動車関連・物流部門)



貨物に付ける送り状を入れるビニールポケットも植物由来とか再生プラを使うなど**より一層の環境負荷削減の取組みの推進を期待**(製造業・調達部)



GGPを導入されたお客様の声 課題・DHLへの要望

- ◆ CO₂削減量の確認を毎月行いたい
- ◆ 年一回の証明書の発行頻度を上げてほしい
(削減量の親会社への報告の為)
- ◆ オンラインでレポートがタイムリーに確認できると便利

レポート機能の
更なる進化

- ◆ GGPの賛同企業を(世界的に)もっと増やしてほしい
- ◆ DHLのCO₂削減活動の更なる推進
- ◆ 取組事例をもっと紹介してほしい

GGPの世界的な推
進、情報発信

- ◆ 全体のCO₂排出量に対するインパクトは限定的
- ◆ SAFコスト高騰・入手等の懸念

SAFの安定供給、
その他